

V 区民活動

1. 住民組織

令和5年1月1日現在

区 分	連 合 町内会数	単 位 町内会数	総世帯数	単位町内会 加入世帯数	総世帯数に対す る加入率(%)	単位町内会平 均加入世帯数
市 計	90	2,183	987,735	685,497	69.40	314
中 央 区	16	256	146,579	90,607	61.81	354
北 区	11	311	142,072	102,038	71.82	328
東 区	10	275	132,806	90,621	68.24	330
白 石 区	8	142	110,191	67,893	61.61	478
厚 別 区	6	82	57,899	43,624	75.34	532
豊 平 区	9	289	121,465	81,507	67.10	282
清 田 区	5	103	46,072	35,239	76.49	342
南 区	10	247	62,511	50,343	80.53	204
西 区	8	285	105,963	75,589	71.34	265
手 稲 区	7	193	62,177	48,036	77.26	249

注) 総世帯数は、「国勢調査」の数値を基礎に、毎月の住民基本台帳による人口の増減を加えて算出した推計人口・世帯数(国勢調査ベース)。

2. 地区集会施設

令和5年4月1日現在

区 分	合計	市 設 置 施 設				地元施設	
		小 計	地区集会所	地区会館	地域会議室	その他の会館	市民集会施設
市 計	329	70	2	58	2	8	259
中 央 区	20	11	0	11	0	0	9
北 区	48	8	1	7	0	0	40
東 区	42	8	0	7	0	1	34
白 石 区	28	8	0	7	0	1	20
厚 別 区	17	4	0	4	0	0	13
豊 平 区	24	8	0	7	1	0	16
清 田 区	42	3	0	3	0	0	39
南 区	59	10	1	5	0	4	49
西 区	23	7	0	5	1	1	16
手 稲 区	26	3	0	2	0	1	23

注) 地区集会所：区出張所に併設の集会所(市管理)、地区会館：まちづくりセンターに併設の集会施設
その他の会館：市が所管する市民集会施設

3. 未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業（各区の主要事業は令和4年度）

(1) 事業の概要

市民に身近な区の創意や裁量により、区や地域の特性を生かした魅力的で活力ある地域づくりを進めるため、市民の主体的なまちづくり活動に対し、様々な側面から支援を行う事業として、平成4年度から実施していた「区のふれあい街づくり事業」を、拡大発展させ地域の主体的なまちづくり活動を支援することとした「元気なまちづくり支援事業」を平成17年度から開始した。その後、多様な主体のネットワーク化促進や「地域まちづくりビジョン」を策定した地域に対する支援など、「市民力の結集」の実現に向け、平成28年度には「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」として再編しスタートした。

札幌市自治基本条例が施行されたことにより、平成19年4月以降は、まちづくりセンターと区役所を地域の拠点と位置づけ（第28条・第29条）、より地域住民との協働を進めるため、事業全般にわたって「まちづくりへの市民参加（第23条）」「わかりやすい情報提供（第26条）」に特に注力し事業を実施している。

当該事業の実績では、7割以上が住民主体でなされており、地域住民の参加によるまちづくりを継続的に支援することができる事業となっている。

なお、事業の運営に関しては、「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業運営要綱」（以下「要綱」という。）により定めている。

(2) 事業の内容（令和4年度の取組）

事業内容については、要綱で定めた下記ア～オの事業内容を基本とし、各区で次のような点に着目して事業を展開した。

ア 地域住民のふれあい・交流、まちづくり団体による情報の共有・交流やネットワークの形成など、地域住民の主体的な「まちづくり活動※」を支援するために効果的な事業

イ 区や地域が持つ自然・文化・歴史・産業・教育研究機関・企業などの資源や人材を活用し、又は様々な地域課題の解決に向けて実施する事業

ウ 地域のまちづくり活動を通じて、男女共同参画の推進、豊かなスポーツ環境の創造、高齢者の生涯学習や生きがいづくりを行うことを目的とした事業

エ 区民協議会の活動への支援や同協議会の意見等を活かして区のまちづくりを活性化することを目的とした事業

オ 将来の展望とその実現に向けた活動指針である「地域まちづくりビジョン」に資する事業

※ まちづくり活動：地域（まち）が抱えている課題に対応して、建物などの整備や活動の実践により解決を図り、暮らしやすいまちを創っていく活動のこと。

(3) ホームページ・アドレス

札幌市役所－市民自治の推進HP内－自治基本情報の具現化に向けた取り組み－「未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業」のページ

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/gugenka/miku-machi/top.html>

中央区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちづくりセンター協働事業	まちづくりセンターを拠点としたコミュニティづくりや、地域課題の解決に向けた取組など、地域住民が主体となって進めるまちづくり活動事業に対し、助成を行うとともに、活動支援を行った。
区役所からの積極的な情報提供と区民との情報交換	まちの魅力再発見事業	WEBサイト「まちのモトマップ」を開設し、市民が自らまちの魅力を取材した現地レポートや区内の各スポットの歴史の変遷を紹介するデジタルマップのほか、過去の冊子版、動画版「まちのモト」をデジタル・アーカイブとして掲載した。
互いに助け合い、安全・安心を実感できるまちづくり	認知症周知強化事業	認知症になっても住み慣れた地域で生活を続けられるよう、正しい知識の普及を目的に認知症パネル展の開催、区内4か所の認知症カフェと共同で認知症合同カフェの開催等を行った。
子どもの健やかな成長を育むまちづくり	世代間交流子育てフェスタ	子育て環境の充実を図ることを目的に、8月(大通高校)と1月(向陵中学校)、地域の子育て関係団体と企画運営委員会形式で子育て世代を対象としたイベントを行った。
いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくり	元気がつながるまち・ちゅうおう	いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくりの実現に向け、ウォーキングイベント、健康づくり交流会、健康づくり人材育成講座を開催したほか、パネル展等により健康に関する正しい知識の普及啓発を行った。
	食をキーワードとした地域活性化事業	区民や食育ボランティアに対し、調理の苦手な人を対象とした、野菜不足を補い主食・主菜・副菜が1皿で揃うおうちごはんレシピを募集し、情報を発信した。また、食育連携協定校、食育ボランティア、企業と連携して「彩バランス弁当」の開発及び提供を行い、低栄養予防の啓発に寄与した。
誇りと愛着を持てるまちづくり	アタック・ザ・531M	家族や友人との絆を深めるとともに、自然に親しむことにより、豊かな自然を守る意識を育てることを目的として、藻岩山登山を実施した。
	協働による地域の環境美化事業	中央区道路環境美化活動(アダプト・プログラム)に基づき、活動団体が継続的に行うごみ拾い等の環境美化活動に対して、清掃用具等の支給、ボランティア保険への加入等の活動支援を行った。
	中央区マスコットキャラクター作成事業(熱Chuu!若手職員プロジェクト)	区制50周年を記念し、中央区マスコットキャラクター「中ウオークン」を作成した。作成にあたっては、全国からデザインを公募し、連合町内会会長や札幌市立大学の生徒等による、選考委員会にて決定している。また、選考委員でもある北海道コカ・コーラボトリング(株)との協働事業として、「中ウオークン寄附型自動販売機」を区役所1階に設置した。
	区制50周年周知事業	区制50周年を記念した取組として、街並みの移り変わりを表現したタペストリーの作成や、(一財)札幌市交通事業振興公社との協働で、中央区マスコットキャラクター「中ウオークン」をデザインしたラッピング電車を運行。車内には、50年の歩みを振り返るポスターを掲出した。
身近な暮らしの中から地球環境を考えるまちづくり	ふれあいフラワー事業	地域住民同士のふれあいの機会の創出や地域の環境美化意識の向上、地域活動の活性化等を目的に、幼稚園児・小中学生と地域住民が主体となり、歩道植樹やJR桑園駅前広場で植花を行った。
	旭山記念公園の自然を活用した環境体験学習	子どもたちに自然環境の大切さへの理解を深めてもらうことを目的に、市民活動団体が旭山記念公園で行う自然にふれあう様々なイベントに対して支援を行った。
地域ネットワーク促進	すすきの地区における児童虐待発防止に向けた見守り・支援ネットワーク事業	地域住民や関係機関と連携し、すすきの周辺地域における子どもの見守り・支援ネットワークの構築を目的として、座談会や若者向け講座、児童虐待予防に関する研修会等を開催した。

北 区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちセンによる地域課題解決・活性化促進	まちづくりセンターが主体となり、各地域の活性化や課題解決に資する取組を実施した。
	地域コミュニティ交流促進事業・まちづくり活動サポート事業	連合町内会が実施する地域コミュニティ活動に対して助成による支援を行ったほか、まちづくり活動に必要な備品等を更新した。
	地区まちづくり協議会活動支援事業	地域のまちづくりに携わる各種団体が構成される「地区まちづくり協議会」が実施する、まちづくり活動に対し、助成による支援を行った。
	まちづくりセンター機能強化事業	まちづくりセンターの、地域に対するアドバイザー・コーディネーター機能を高めるための研修等を行った。
わがまち・地域活性化事業	「区制 50 周年記念『わたしだけの北区、見つけた！』作品」での区 PR 事業	北区をテーマにした写真等の作品を募集し、広報さっぽろ北区版の表紙に掲載したほか、ぽっぴいフェスティバルでパネル展を実施した。
	区制施行 50 周年記念北区ぽっぴいフェスティバル	区民まつりである「ぽっぴいフェスティバル」を刷新。ステージイベントなどコンテンツの充実を図り、多くの来場者を迎えた。
	区制施行 50 周年記念事業 健康ウォーキング「チャレンジ 50」	ウォーキングに取り組むきっかけとなるよう、通算 50km をゴールとした特典付き健康プログラムを実施した。
	区制施行 50 周年記念事業 動画版「これならできる！朝ごはんレシピ集」	学生と協働で『朝ごはんレシピ集動画』を企画制作し、食を通じた健康づくりを進め、若者のまちづくり活動参加の機会を創出した。
	北区八十八選の歴史を未来へつなぐ事業	「北区歴史と文化の八十八選」を継承するため、屯田防風林などの選定箇所の整備等を行った。
	区制 50 周年を彩る事業	区制 50 周年周知のため、北 24 条駅から北区役所までの北 24 条通沿いにプランターを設置して花を植栽し、歩行空間を彩った。
	学生と地域の連携によるまちづくりの推進	地域の児童・学生・町内会が協働で行う活動に対して助成による支援を行い、学生の地域活動への参加を促した。
	北区アダプト・プログラム支援事業	北区内の道路などの清掃活動を希望する企業や団体を対象に、北区と各団体が覚書を交わし、協働による環境美化活動を推進した。
	地域と行う区役所周辺美化事業・亜麻のフラワーロード	区役所周辺及び北 8 条線（西 2 及び 3 丁目）の花壇整備を行い、歩行空間の美化を行った。
	歌舞伎の伝承	地域で農村歌舞伎を保存・継承する団体が主催する公演活動に係る費用の助成を行ったほか、ニューズレター発行等の広報を行った。
	「藍栽培」の歴史と文化伝承	区内の高校において藍栽培の歴史を学ぶ授業を実施したほか、藍の種の配布や広報用のリーフレット作成を行った。
	災害時につなげる高齢者等要配慮者の見守り体制推進	地域における「見守り、支え合い」活動を推進するため北区防災リーダー研修において要配慮者避難支援の取組を紹介し、啓発を行った。
	北区地区防災マップづくり支援	自主防災組織を結成し、地区防災マップの製作に取り組む町内会又は自治会を対象に製作費を助成した。
	みんなで作る安全で安心なまちづくり	地域の安全で安心なまちづくり活動を推進するため、スクールゾーン標識の整備や補修等を行った。
	子育て家庭にやさしいまちづくり	乳幼児とその保護者が、地域住民と遊びを通して交流するイベントを実施し、地域で安心して子育てができる環境づくりを推進した。
	北区ガイド作製・区民活動 PR 事業	北区の地図のほか、歴史・文化などを掲載した「北区ガイド」や、地域のまちづくり活動を紹介する「ノースウイング」等を発行した。

	「ぼっぴい」×「北区の魅力」発信	北区まちづくりキャラクター「ぼっぴい」と「北区の魅力」のイラストを用いた啓発品等を制作・活用し、北区のイメージアップを図った。
	男女共同参画事業	啓発ポスターや懸垂幕を掲出、また、来庁者にパンフレットなどを配布し、男女共同参画の理念及び実践について啓発した。
	北区少年少女スポーツ大会	区内の小学3～6年生を対象にスポーツ大会を実施。スポーツを通じた少年少女の健全育成及び「スポーツ元気都市さっぽろ」の推進を図った。
	冬季スポーツを通じた区民の健康・体力づくり	区民を対象に雪合戦体験会を実施。体験会方式にすることで、より多くの区民に冬季スポーツを通じた健康・体力づくりの機会を提供した。
	高齢者教室（北親大学）	区内の65歳以上の方を対象に、生涯学習を支援する高齢者教室「北親大学」を開催した。
区民協議会特別推進枠	北区まちづくり協議会支援事業	「北区まちづくり協議会」に参加する団体間の情報共有や活動テーマに対する理解の深化、連携の形成等が活発になるよう支援した。
	北区地域防災力レベルアップ事業	北区の地域防災力向上のための防災事業として、区防災訓練や防災リーダー研修のほか、地域の防災事業支援を実施した。
	避難所運営実地訓練事業	新琴似地区避難所開設訓練を実施し、災害時における避難所開設、的確な初動対応と基本的な行動の確認を行った。
地域ネットワーク促進事業	地域ネットワーク促進事業	様々な団体や人材の連携によって組織される団体等が行う、地域課題解決のための活動に対し、助成による支援を行った。

東 区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	栄東地区まちづくり活性化事業	子どもたちが住み良く、将来大人になったときにも、より暮らしやすい地域コミュニティを作り上げるという目的で設置された「栄東地区子ども未来会議」により、「ICT活用による情報発信事業」、「子どもに対する情報発信事業」、「ちびっこなつまつり事業」、「栄東地区雪あかり事業」、「花いっぱいプロジェクト事業」の5つの事業を実施した。
	元町地区多世代交流事業	元町地区におけるまちづくりの活性化を図るため、憩いの場の創出及び世代間の地域交流の場を設けることを目的として、元町会館前広場において、花植え等による「美化活動」をそれぞれ実施した。
地域ネットワーク促進事業	地域と大学等の連携による東区健康づくり事業	東区で健康づくりを実践している各団体及び東区と連携協定を結んでいる札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、天使大学、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学との連携により、ウォーキングに関する内容や地域での健康づくり活動に関する内容のパネル展を開催した。
わがまち・地域活性化事業	東区広報ラジオ番組「タッピー通信」	コミュニティFM「さっぽろ村ラジオ」で、区政情報や区内のイベント情報などを紹介。まちづくりをテーマとした親しみやすい番組を放送した。
	札幌黄PR事業	東区の農産物である「札幌黄」の存在や魅力を継承していくためのPR事業。令和4年度については、区内外のイベントにおける情報発信や「札幌黄フォーラム」を実施したほか、札幌黄の歴史や特徴についてまとめた小冊子「札幌黄物語」の増刷を行った。
	東区まち美化プログラム	環境美化に対する市民意識の高揚と協働によるまちづくりの推進を目的として、東区内の団体と東区役所が覚書を交わして実施する道路清掃等の環境美化活動。令和4年度は新たに3団体が参加し、令和4年度末時点で通算30団体の参加となった。また、感謝状贈呈基準を満たす5団体に対して、感謝状の贈呈を行った。
	フラワーロード事業	地域団体や町内会、商店街等が連携して、花による魅力ある街並みづくりの形成を目指すことにより、地域美化及び交流の促進を図ることを目的として、地域住民が主体となり、モエレ公園通と北8条通において植花活動を行った。
区民協議会特別推進事業	声かけあい、支えあうひがし区民協議会支援	地域において「きずなと信頼、安心・安全」が育まれることを目指して区民協議会が取り組んでいる「あいさつ声かけ運動」の支援や、4つの小中学校と2つの施設での防災訓練を実施した。さらに避難所運営に係る用品の整備を行った。

白石区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちづくり活動支援事業	地域の特性を活かした市民自治によるまちづくりを進めるため、各まちづくり協議会等が行う、防犯・防災、環境美化等の地域課題解決に向けた取組や魅力ある地域づくりの活動に対して、必要な経費を助成するなどの支援を行った。
わがまち・地域活性化事業	白石区地域コミュニティ活動活性化支援事業	町内会への加入や活動への参加を促進するため、町内会活動ガイドの作成を支援した。
	しろっぴーフォトコンテスト	冬期間に気軽に身体を動かす機会を地域住民に提供し、健康・体力の増進を図ること、未来のまちづくりを担う子どもたちの創造力と独創性を育むことを目的とし、区のマスコットキャラクター「しろっぴー」をモチーフとしたフォトコンテストを「雪だるま」、「仮装」の2部門で実施した。
	白石区マスコットキャラクター「しろっぴー」「くろっぴー」活用事業	白石区マスコットキャラクター「しろっぴー」、「くろっぴー」の意匠提供を行った。また、これまで地域等への「しろっぴー」の貸出可能物品は「しろっぴー」の「着ぐるみ」のみであったところ、「顔はめパネル」や「ガチャガチャ」を追加し、貸出しを行った。この他、LINE スタンプ第3弾の販売を開始した。
	中学生の主張発表会	自分の考えを表現できる力を養うことを目的として、区内の中学校2、3年生の生徒を対象として、自分が普段思っていることや感じていることを発表する場を提供した。
	ニュースポーツふれあい事業	町内会やPTA、地域のサークルなどの行事でニュースポーツを気軽に楽しんでもらうため、用具の無料貸出しを行った。
	地域の安心安全まちづくり支援	地域力を高め、災害や犯罪、交通事故の被害を軽減し、安全・安心なまちづくりを推進するため、地域の活動に必要な用品等の支援を行った。
地域ネットワーク促進事業	白石区複合庁舎にぎわい協働プロジェクト事業	白石区複合庁舎の「まちづくりイベント広場」を地域団体等のまちづくり活動の場として提供するとともに、開催イベントの情報発信を通して、まちづくり団体の取組の支援を行った。
区民協議会特別推進事業	区民協議会特別推進事業	防災対策強化のため、各まちづくりセンター及び地域振興課に、ポータブル電源及びソーラーパネルの整備などを行った。

厚別区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業 (各地区のまちづくり会議支援)	厚別中央～厚別中央地区健康サロン支援事業～	健康に生き生きと暮らせるまちづくりを目指して、地域住民の健康づくりや疾病予防の学習、健康づくりの普及・啓発活動を支援する。 福祉のまち推進センター主催の「健康サロン」において、健康づくりのための講演会2回とクリスマスコンサートを実施した。
	厚別南～厚別南地区地域交流イベント支援事業～	関係団体の自主性の向上、活動の活性化を図るため地域交流イベントを支援。新型コロナウイルスの影響により、地域交流イベント4件のうち3件は中止となったが、厚別南児童会館ハロウィンイベントについて支援を実施した。
	厚別西～子育て支援マップ&カレンダー製作事業～	厚別西地区の子育て支援情報を幅広く周知し、地域間の交流を活性化することにより、安心して子育てができる環境づくりを支援。厚別西地区内で開催される予定の地域主体の子育てサロン6か所の場所、開催日程を掲載した「子育て支援マップ&カレンダー」を製作し配布した。
	もみじ台～もみじ台フロアカーリング～	子どもから高齢者まで、体力や年齢を問わず幅広く参加できるスポーツであるフロアカーリングを媒体として、健康増進、世代間交流、地域交流を促進する。感染症対策を施し年間15回開催し、年間参加者合計は、延べ324名(平均21名程)。
	青葉～青葉中央公園ジャック(青葉中央公園花いっぱい運動)～	花壇の手入れや鑑賞などで公園を訪れる機会を増やし、地域住民間の交流促進を図るほか、環境整備、自然環境保護への関心を高めるため、青葉中央公園の花壇へ花植えを実施した。
	厚別東～厚別東安全・安心まちづくり事業～	防災に関する知識の習得、防災意識の向上など安全・安心な地域づくりへの取組を支援。厚別東地区の4つの単位町内会の緊急資機材庫及び高齢者宅を、各町内会の住民の案内のもと北星学園大学附属高等学校の生徒と除雪作業を行ったほか、防災訓練や緊急ヘリポートに指定されている厚別中学校のグラウンドの雪踏みを行った。
わがまち・地域活性化事業	新さっぽろ冬まつり	新さっぽろ駅周辺地区のにぎわいづくりや、子どもたちに対する冬の楽しみの提供を目的に、ふれあい広場あつべつ及び科学館公園にて、雪や氷を楽しむ冬の遊び場の提供(すべり台、雪像、雪を使った制作体験)、スノーキャンドルの設置、写真コンテストを実施した。
	厚別区広報ラジオ番組「厚別ふれあい・ほっと・ステーション」	厚別区を主な聴取地域とするコミュニティFMラジオにおいて、週1回15分間程度の番組を制作・放送。区民などのゲストを招き、地域のまちづくり活動などの紹介を行い、区民のまちづくり活動への参加意識を高めた。
	地域における安全対策の推進事業	安全・安心に暮らすことができるまちづくりの推進のため、交通安全と防犯について、小学校には子ども地域安全マップの冊子データを作成したほか、希望する小学校に交差点付近の歩道上に設置するストップマークを作成し配布した。 また、地域とは秋と冬に冬期間の除雪の妨げとなる路上駐車防止を啓発するため4地区と連携して迷惑駐車パトロールを実施した。
	厚別区スポーツチャレンジ	誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりを進めるとともに、スポーツを通じた健康増進や地域活動への参加促進を目的に、ニュースポーツ体験会を開催することで、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、体験できる場を提供した。
	高齢者教室「瑞穂大学」	多様な価値観を持つ高齢者が生きがいを持てるよう、高齢期に必要なとされる知識や能力を養い、仲間とのふれあいを通じて、社会参加の意欲をより強くしていくことを目的に、区内65歳以上の高齢者(定員10名)を対象として週1回2時間程度のオンライン講座を行った。
	新さっぽろ冬まつり	新さっぽろ駅周辺地区のにぎわいづくりや、子どもたちに対する冬の楽しみの提供を目的に、ふれあい広場あつべつ及び科学館公園にて、雪や氷を楽しむ冬の遊び場の提供(すべり台、雪像、雪を使った制作体験)、スノーキャンドルの設置、写真コンテストを実施した。
	区民協議会特別推進事業	区民が主体となり、創意工夫によるまちづくりを推進するため、区民協議会の運営(運営委員会等の開催)について支援した。
地域ネットワーク促進事業	産官学連携の取組として、北星学園大学・株式会社札幌副都心開発公社との協働により、厚別の魅力の再発見・発信を目的としたフォトコンテストを開催した。	

豊平区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
地域活動を活性化するまちづくり	コミュニティ活動支援事業	地域住民の主体的なまちづくりを支援するため、地域のコミュニティ活動に対して助成金の交付を行った（9地区合計76事業に交付）。
	とよひらスポーツ健康ウォーキング事業	7月、9月、10月に、それぞれウォークラリーイベントを実施することで、誰でも気軽に取り組める健康づくり（スポーツ）として「ウォーキング」を広く推進し、区民の健康増進を図った。 その他、ウォーキングマップの配布、区内商業施設等においてウォーキングマップ大型パネルの展示、また区役所及び保健センターの階段に「健康づくりPR」ステッカーを貼付し、「歩く」活動を推進する取組を行った。
	とよひら kids スポーツ体験会事業	子どもたちが様々なスポーツに親しむきっかけを提供するため、小学生を対象にアイスホッケーやパラスポーツの体験会を行った。
	とよひらフラワーコンサート	地域の音楽振興や学校と地域の交流を促進するためにコンサートを開催した。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、来場者を限定して実施した。
	プロスポーツ応援デー連携事業	豊平区内のプロスポーツチームが実施する豊平区民を対象とした無料招待（区民応援デー）への協力を通じて、スポーツ観戦文化の浸透を図った。また、選手と地域の協働による植花活動やチームへのリング贈呈など、各チームと連携してまちづくりに取り組んだ。
	「魅力発見 ほ～！へ～！カルタ」の普及啓発	区内の歴史やシンボルなど、豊平区の魅力を集約したオリジナルカルタ「魅力発見 ほ～！へ～！カルタ」の一層の普及を図るため、パネル展の開催や、区内小学生全児童へのカルタ啓発クリアファイル配布を行い、カルタの魅力や内容を分かりやすく発信した。
	豊平区キャラクター活用事業	区のキャラクター「こりん」と「めーたん」の意匠や着ぐるみの利用を促進することや、イベントへの出演により盛り上げを図ることで、区への愛着を深めることにつなげるとともに、地域や商店街の活性化を図った。
	とよひら“風土”コレクション	朝食と野菜の摂取を促す「とよひらベジモーニング」には、383作品の応募があり、入賞作品選考には延べ3,902人が参加した。 また、事業協力店による情報提供等、地域と連携した啓発を行った。さらに、大学サークルとの連携により、TwitterやInstagramで事業のPRを行ったほか、風土ネットメンバーと食育動画の作成を行った。
安全・安心な暮らしを支えるまちづくり	「豊平区ネットワーク会議」運営事業	地域住民と行政など関係機関等の連携と協働により、安全安心で心豊かな住みよいまちづくりを進めるため、まちづくりに関わる区内の様々な団体が協議や情報共有を行っている。令和4年度は、全体会議を開催し、防災に関する取組報告の他、外部講師を招き、「多発する自然災害 札幌の気候変化と対策」をテーマとして講座を開催した。
	「安全・安心なまちとよひら」推進事業	小学生の交通事故防止をはじめ地域住民の交通安全や意識の向上を促すため、歩道に貼るストップマークの小学校への配布を行った。 また、新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営訓練を地域住民と協働で実施し、その内容をまとめた報告書を各地区に配布することで区民の防災意識の高揚を図り、地域住民の適切な避難行動につなげるため、豊平区防災マップの更新を行った。 さらに、災害時の避難所開設・運営方法や役割を地域住民にわかりやすく伝え、主体的な意識醸成を図るため、「避難所開設イメージブック」を作成した。
	「イザ！カエルキャラバン！」開催支援事業	子どもを中心とした若いファミリーを対象に、楽しみながら防災について学べる防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン」を開催する地域・学校に対し、物品の貸出し及び運営アドバイス等を実施した。（南月寒小学校、月寒公園で実施。参加児童数は各100名、計200名）
地域で互いに支え合うまちづくり	とよひらまちづくりパートナー事業	多様な担い手によるまちづくり活動を推進するため、地域のまちづくりに参加・協力する意欲のある企業・学校・各種団体を「まちづくりパートナー」として登録し、地域とマッチングしている。令和4年度は新たに3社が加わり、計55の企業・団体が活動した。

	デジタル活用による地域活動促進事業	高齢者のデジタル格差を解消するとともに、デジタル技術を活用したまちづくり活動の土台をつくるため、地域活動に参加している高齢者を対象とした初心者向けスマホ教室を実施した。
豊かな自然・四季と共存するまちづくり	とよひら HANA-LAND 事業	地域の皆さんと区内を花で彩り、色彩豊かな美しい街並みを目指すとともに、花を通じたふれあいの場を作り、地域の連帯やふるさと意識をはぐくむことを目的とした植花活動で、区内の町内会や小中学校に花苗や花の種を提供している。
	リンゴ並木を活用した区の魅力PR事業	区のシンボルである「環状通リンゴ並木」で収穫されたリンゴを活用して、地元の小学生が地域の歴史やまちづくり活動を学ぶ支援を行ったほか、プロスポーツチーム等へのリンゴ贈呈式や地域行事へのリンゴ配布を通じて（合計 1,514 個のリンゴを贈呈・配布）、自然豊かな豊平区の魅力についてPRした。

清田区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
安心して生活できる環境づくり	単身高齢者へのカレンダー配布事業	緊急連絡先や福祉の相談窓口等を掲載し、区内の風景や地域行事の写真をデザインに利用したカレンダーを制作。民生委員・児童委員等を通じて一人暮らしの高齢者等に配布した。
	子どもまちづくり事業	区に対する愛着やまちづくりに参加する意識を持ってもらうため、体験型イベントの開催や区に関する歴史や自然環境、区役所実施の事業を内容とする検定を実施した。
	清田区災害時助け合い活動支援事業	地域における自主的な取組推進を図るため、出前講座を実施したほか、清田区防災訓練において災害時支え合いハンドブックを配布するなど普及啓発を行った。
	安全安心まちづくり事業	防犯意識の向上を図るため、児童に行う「安全教室」、広報媒体による情報発信、高齢者を対象とした特殊詐欺被害防止のための啓発活動を実施した（令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、「防犯講演会」は中止）。
	環境にやさしいまちづくり事業	「アダプト・プログラム制度」には区内17団体（令和4年4月）が参加し、地域と行政の協働による環境美化活動を推進した（令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により「ホテル観賞事業」は中止）。
	安全・安心な食のまち・きよた推進事業	食の安全・安心に関する啓発活動を行うとともに、区役所庁舎内において「食の安全・安心クイズラリー」を実施し、区民の啓発に努めた。
賑わいづくりの拡大	音楽イベント「きよフェス」開催事業	令和4年度は、「きよフェス」を9月に開催し、5組のアーティストによる音楽ライブと「FUN! FAN! KIYOTA」（キッチンカーの出店や農家による野菜直売会）を同日開催とした。
区内外への情報発信	花とみどりのまち推進事業	区のまちづくりの視点「みどり」をキーワードとし、「ガーデニング・コンテスト」を実施した。また、「フラワーアレンジメント体験講座」、「レカンフラワーを使った立体はがき作り体験」を実施した。
	KIYOTA SWEETS 推進事業	スイーツを通じて区の魅力を発信し地域の活性化を図るため、区内菓子店と協力して設立した「きよたスイーツ推進協議会」を中心に、「きよたスイーツスタンプラリー」の実施のほか、区内外のイベントでの出展・PR等を行った。
まちづくりセンターを活用したまちづくり	北野まちづくりセンター	みどりのカーテンや花苗等の緑化、ペレットストーブの活用により環境負荷の低減と環境美化に関する取組の支援を継続した。
	清田中央まちづくりセンター	まちづくりセンター内の配架スペースの拡充を図ることにより、地域への情報発信の強化を行った。
	平岡まちづくりセンター	地域防災対策として、関連情報と地域の防災関連施設を提示する防災マップの作成することとし、今年度はデータ作成を行った。
	清田まちづくりセンター	地域の諸団体と連携し、「きよたまちの灯り」等への支援を行った。

南 区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働枠	まちづくりセンター協働事業	地域力の向上を図るため、地域のまちづくり活動10事業を、まちづくりセンターが中心となって支援・展開した。
わがまち地域活性化枠	まちづくり推進事業	インターネット環境を整備し、まちづくりに関する情報収集力及び情報発信力を高め、まちづくり活動を推進するため必要な環境の整備を進めた。
	南区地域ふれあい事業	地域力の向上や地域のコミュニティづくりの進展が期待される事業に対して助成金を交付した。
	学生が主体的に取り組むまちづくり活動への助成事業	学生団体の自主的なまちづくり活動が継続的に行われるためのスタートアップ支援として、南区の「魅力」を様々な方法で発信することを目的とする事業に対して助成金を交付した。
	地域資源を活用した南区の魅力PR事業	区の地域資源や魅力をPRするため環境広場 2022 へのブース出展を行ったほか、「芸術」をPRするため、市内を走行する路線バスにアート装飾を施して通年走行を行った。
	地域の芸術・文化活動を通じた南区まちづくり事業	地域と連携したアートプロジェクトの企画運営や地元アーティストの活動紹介、区制50周年記念事業「南区芸術祭 2022」実施など、「南区＝アートのまち」推進に資する事業を実施した。
	南区子ども交流事業	子どもたちが他地域との交流を通じて新たな友情・協調性・社会性を養うため、子どもの居場所づくり南区「遊びの広場」など関係団体の活動を支援した。
	スポーツ振興事業	地域におけるスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会の支援などを行った。
	レクリエーションスポーツ振興事業	生涯スポーツ社会を推進するため、誰もが楽しめるレクリエーションスポーツの普及と、レクリエーションスポーツ用具の貸出等を実施した。
	男女共同参画事業	男女の人権が十分尊重され、豊かで活力に満ちた男女共同参画社会の実現のため関係団体・グループの活動を支援した。
	高齢者教室事業	高齢者の生涯学習や地域活動参加のきっかけづくりとして、各種講座を開催した。
区民協議会特別推進枠	地域へ広げる南区子育て支援キャラクター事業	南区子育て支援キャラクター『さくらんぼちゃん』の認知度アップ促進のため、子育てサロン、保育園などのイベントへの参加、スタンプラリーの実施や啓発品配布などを行った。
	シニニックバイウェイとの連携事業	当該団体が取り組むまちづくり活動の支援及び関係団体間の連絡調整等や当該団体の取組及び南区の魅力の情報発信を行った。
地域ネットワーク促進枠	南区区制 50 周年記念関連事業	南区のこれまでの歴史を振り返り、これからの南区を考える契機とすることを目的に記念講演会を実施した。
	花による南区イメージアップ事業	南区の花コスモスをPRするため、コスモスの種付き啓発品を作成し、転入転出時期に区役所来庁者へ配布した。
	まちづくり活動スタートアップ支援事業	地域住民の自主的なまちづくり活動が継続的に行われるためのスタートアップ支援として、地域課題の解決に向けて活動している団体の新規事業に対して助成金を交付した。

西 区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	まちセン地域サポート事業	区内8か所のまちづくりセンターが、住民とともに地域の魅力や課題を踏まえ、これに応じた独自事業を企画・実施した。
わがまち・地域活性化事業	西区区制施行50周年事業	<p>○ロゴマーク作成 北海道科学大学の学生によって制作された7案のデザインを一般投票にて1つに絞り、令和4年5月にロゴマークを発表した。ロゴマークは区制50周年を盛り上げるシンボルとして活用した。</p> <p>○西区文化フェスタ2022 区民の文化意識の向上を図ることを目的として、区内に5か所の会場を設け、13日間、コンサートやダンス等の多様なジャンルの公演を実施した。</p> <p>○コトニジャズ・コトニクラシック 「西区区制50周年記念 西区フェスティバル」の記念ホールイベントにおいてPMF修了生をメインとしたクラシックコンサートを行ったほか、区内の大型商業施設を会場にジャズコンサートを実施した。</p> <p>○西区SDGs普及啓発事業 SDGsの普及啓発・理解促進を目的とした「西区SDGsフォトコンテスト」を開催したほか、西区の歴史を振り返り、魅力を再発見する「西区の歴史再発見フォト募集」を実施し、チ・カ・ホ等で展示会を行った。</p> <p>○西区PR動画 区民の西区への愛着度を高めることを目的として、西区内にある様々な見どころスポットを舞台にしたショートムービーを制作した。</p>
	琴似発寒川環境保全推進事業	琴似発寒川河畔において、一部の連合町内会及び実行委員会事務局でやまめの稚魚放流を行ったほか、琴似発寒川の環境保全活動を安全・安心に実施していくために散策路等の維持管理を行った。
	西区地域情報発信事業	コミュニティFMラジオ「三角山放送局」で広報番組を放送し、市政情報や地域の話題などを発信したほか、区内の公共施設や避難場所、窓口案内等の情報を掲載した「西区ガイド」を作成した。
	にしく♪ちびっこミュージックプロムナード	本格的な演奏に触れる機会の少ない未就学児を対象に、文化芸術意識の醸成を図ることを目的として、子ども向けの楽曲によるコンサートを開催した。
	地域の防災力向上事業	地域住民や学校教職員に対して、発災時に円滑に避難所開設を行えるよう訓練を実施したほか、地域防災計画に関する講話や自主防災資料の取扱訓練等を盛り込んだ西区防災実技研修を実施した。
	ウェルカム西区！転入者子育て交流会	子育て世代の転入者が地域とのつながりを持つことにより、子育てに係る不安や負担を軽減するため、西区に転入した0～3歳の子と保護者を対象に、参加者同士の交流会を開催した。
	「エコロコ！やまベエ誰でも体操」動画作成	介護予防体操「エコロコ！やまベエ誰でも体操」が10周年を迎えたことを記念して「リニューアル区民編」と題した動画を制作した。
区民協議会特別推進事業	西区環境まちづくり協議会支援事業	川や公園での自然体験を通して環境について学ぶ「エコキッズ・プログラム」「西区コドモ自然学校」や、楽しみながら環境について学べる「西区こども環境広場」など、区民協議会「西区環境まちづくり協議会」が実施している様々な環境活動を支援した。
	西区アダプト・プログラム	町内会や企業等の団体が行う環境美化活動（道路や公園の清掃、冬の砂まき等）に対して、清掃用具の提供や傷害保険の加入等の活動支援を行った。令和4年度は新たに1団体が加わり、合計54団体となった。
地域ネットワーク促進事業	西区まちづくり活動助成事業	地域住民の主体的なまちづくり活動の促進や地域コミュニティの形成に効果のある事業に対し助成金の交付を行った。

手稲区～未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進事業～

	事業名	事業内容
まちづくりセンター協働事業	自治の拠点「まちづくりセンター」を通じた地域まちづくり支援	区内7か所のまちづくりセンターを中心に、まちづくり協議会など地域との協働により、地域課題解決のきっかけづくりを行った。 また各まちづくりセンターごとに、各地区の活動や出来事を紹介する情報誌を14,800部発行。併せて区ホームページにも掲載した。
わがまち・地域活性化事業	小学生の夢・10年後の手稲のまち事業	区内全小学4年生から「10年後の手稲のまち」をテーマとした絵を募集し、アイデア作品賞について表彰を実施した。
	高齢者教室「手稲区稲苑大学」の運営	高齢者が積極的に教養を高め、生きがいと潤いのある生活を目指す意欲を向上させるとともに、共に学ぶ仲間との交流を深めるため、一般教養をはじめ福祉やまちづくりなど多岐にわたる分野の講座等を実施した。
	北海道科学大学との連携	北海道科学大学・手稲区連合町内会連絡協議会・手稲区で締結した「地域包括連携協定」と「防災連携協定」に基づき、様々な事業において連携し、人的・知的資源などの相互活用を図った。
	小樽市・石狩市・手稲区交流事業	隣接する小樽市・石狩市との交流会議を開催したほか、交通安全街頭啓発、「あいくる」や「石狩さけまつり」での観光プロモーションイベント等を実施するなど、両市との連携の強化を図った。
	男女共同参画推進事業	日常生活において男女がともに支え合い、それぞれの個性と能力が発揮できる社会の理解を深めるため、パネル展及び公開学習会を実施した。
	子どもの居場所づくりへの支援	地域の異なる年齢の子ども達が、安全で安心して仲良く遊べる環境（居場所）を、子どもに関する団体が連携して提供し、子どもの健全育成を図るとともに、この環境を地域に広げていく。
	ていぬ活用事業	区民の手稲区へのふるさと意識の醸成・愛着を向上させるため、区内の小学新一年生に「ていぬオリジナルノート」を配布。
	「手稲区ガイド」の発行	手稲区ほぼ全域の地図と区内の公共施設や区の概要など身近な情報を記載した「手稲区ガイド」を12,000部作成し、区内各所で配布した。
	広報媒体多様化による区の情報発信機能強化事業	「地域活動の活性化」及び「安全・安心なまちづくり」を推進するため、地域住民に慣れ親しまれているコミュニティ放送を活用し、地域に密着した情報を発信した。
	災害時要配慮者地域支え合い事業	災害時に自分や家族の力だけでは避難できない要配慮者（高齢の方、障がいのある方、妊産婦など）の避難にかかる地域の自主的な取組を推進するため、取組実践集を作成し、意見交換等を交えた研修会を行った。
区民協議会特別推進事業	区民協議会「ていねっていいね！区民の集い」支援事業	情報提供コーナーの移設・リニューアルに伴い、手稲区キャラクター「ていぬ」を活用した区の魅力発信の場を新たに設け、来庁者に対する手稲区への愛着意識のより一層の向上を図った。 また、ていねくフォトコンテストとその受賞作品展を開催し、区の内外に向けたPRを行った。
		区民協議会「ていねっていいね！区民の集い」を開催し、「区の魅力づくり」をテーマとして、北海道科学大学の濱谷雅弘教授を講師に招き「ふるさと手稲づくり講演会」を開催した。 また、ウェブサイト「得ダネ手稲」を運営する得ダネ実行委員会の梁川加奈未代表による活動紹介を行った。